

寄贈図書リスト

星と星座の見方がわかる本, 縣 秀彦, 四六判, 240
頁, 571円+税, 学研パブリッシング

空のアート, 駒沢満晴, A5判, 144頁, 1,900円+税,
地人書館
空の虹色, 池田圭一・服部貴昭 著, 新書版, 88頁,
1,200円+税, 文一総合出版

月報だより

月報だよりの原稿は毎月20日締切, 翌月に発行の「天文月報」に掲載いたします。校正をお願いしておりますので, 締切日よりなるべく早めにお申込みください。

e-mailで toukou@geppou.asj.or.jp 宛。

なお, 原稿も必ずFaxで0422-31-5487までお送りください。

人事公募

標準書式: なるべく, 以下の項目に従ってご投稿ください。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員 (ポスト・人数など), 2. (1) 所属部門・所属講座, (2) 勤務地, 3. 専門分野, 4. 職務内容・担当科目, 5. (1) 着任時期, (2) 任期, 6. 応募資格, 7. 提出書類, 8. 応募締切・受付期間, 9. (1) 提出先, (2) 問合せ先, 10. 応募上の注意, 11. その他 (待遇など)

2014年東アジア中核天文台連合 (East Asia Core Observatories Association (EACOA)) フェロー

東アジア中核天文台連合 (EACOA) は, 研究協力を促進するために作られた東アジアの四つの主要な天文研究機関: 中国科学院国家天文台, 自然科学研究機構国立天文台, 韓国天文学宇宙科学研究院, 台湾中央研究院天文及天文物理研究所の連合体です。

EACOAは優秀な人材を対象として, 2012年からEACOA Fellowshipを創設しました。公募対象は天文学や天体物理学の分野で研究を行う博士号取得から5年以内の研究者です。任期は3年です (さらに2年 (最長合計5年まで) 延長が可能です)。自立した研究者として, さらにEACOA各機関に属する研究者との連携を図りながら, 研究活動を行っていただきます。身分はEACOAの機関の常勤職員扱いです。任期中に少なくとも二つ以上のEACOA機関 (一機関につき最短でも1年間以上滞在) で研究していただくことが採用の条件です。

1. 研究員 若干名
2. (1) 受入れ研究者の所属による
(2) 中国科学院国家天文台 (紫金山天文台, 上

海天文台を含む), 自然科学研究機構国立天文台, 韓国天文学宇宙科学研究院, 台湾中央研究院天文及天文物理研究所のいずれか。本人の希望による。

3. 天文学, 天体物理学
4. 各自の研究や開発に専念
5. (1) 採用決定後なるべく早い時期
(2) 3年 (審査を経て, さらに2年 (最長合計5年まで) 延長可能)
6. 天文学や天体物理学を研究する学位取得者, 国籍は問わない, 英語での意思疎通が可能なる方
7. (1) 履歴書, (2) 研究歴, (3) 研究計画, (4) 受入れ研究者の確認書, (5) 論文リスト
8. 2013年12月15日
9. (1) <http://www.asiaa.sinica.edu.tw/~EACOA/postdoc/application.php>
(2) 自然科学研究機構国立天文台 国際連携室 irc@nao.ac.jp
10. 中国科学院国家天文台, 自然科学研究機構国立天文台, 韓国天文学宇宙科学研究院, 台湾中央研究院天文及天文物理研究所のいずれかにEACOA Fellowの受入れ研究者が必要です。応募者は, 応募する前に受入れ研究者を決めて, 連絡を取ってください。
書類の提出はすべて英語です。日本語は受け付けられませんのでご注意ください。以下のwebページを熟読の上, 応募してください。
<http://naoj-global.mtk.nao.ac.jp/EACOA-E/fellowship/announce2014.html>
<http://naoj-global.mtk.nao.ac.jp/EACOA-E/fellowship/program2014.html>
11. 月額US\$5,000の給与, 年間約US\$20,000の研究費, 旅費, 引越費用等が支払われます。審査にあたって追加書類の提出を求められることがあ

ります。提出書類はお返ししません。採用審査はEACOA審査委員会が行います。結果は2014年3月末までに直接応募者に通知されます。

京都大学大学院理学研究科宇宙物理学教室教員

1. 助教1名
2. (1) 京都大学大学院理学研究科物理学・宇宙物理学専攻宇宙物理学教室
(2) 京都市
3. 宇宙物理学(理論)
4. 宇宙物理学の研究とそれを通しての大学院生、学部生の教育、当教室で推進中の岡山新技術望遠鏡計画に協力していただける方を希望します。京都大学において活気あふれる研究グループを立ち上げ、リーダーシップを発揮できる有能な人材を広く求めます。
5. (1) 決定後なるべく早い時期
(2) なし
6. 天文学あるいは関連分野の博士の学位を有すること
7. (1) 履歴書, (2) 主要論文リスト(査読付き雑誌に掲載されたものとするでないものを区別すること, また特に重要な論文3編までに印をつけること), (3) 研究歴(A4判2ページ程度), (4) 研究計画書(A4判2ページ程度), (5) 意見を伺える方2名の氏名と連絡先(メールアドレス)
8. 2013年9月30日(月) 午後5時必着
9. (1) 〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学大学院理学研究科宇宙物理学教室
主任 長田哲也
Tel: 075-753-3903 Fax: 075-753-3897
(2) 〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学大学院理学研究科宇宙物理学教室
嶺重 慎
Tel: 075-753-3901 Fax: 075-753-3897
10. 封筒に「人事応募書類在中」と朱書き, 簡易書留で送付すること。応募書類は, お返ししません。
11. 書類選考の後, 場合によって面接を行うことがあります。京都大学は男女共同参画を推進しています。多数の女性研究者の積極的な応募を期待します。

平成26年度国立天文台フェロー (年俸制特任助教)

国立天文台フェローは、自立した優秀な若手研究者を採用し、国立天文台において研究活動を行っていただく制度です。平成24年度は2名、25年度は4名を採

用しています。

1. 年俸制特任助教 若干名
2. (1) 受入責任者の所属するプロジェクト, センター, 研究部
(2) 国立天文台の三鷹, 水沢, 野辺山, 岡山, ハワイ, チリのいずれかのキャンパス
3. 天文学および関連分野
4. 基本的に義務的勤務はなく, 研究や開発に専念していただきます。
5. (1) 平成26年4月1日以降. ただし平成26年9月30日までに着任していただきます。
(2) 原則として着任日より5年間ですが, 年度ごとに業績評価を受け契約を更新していただくこととなります。任期満了後の再任はありません。また, 着任前6カ月以内に自然科学研究機構職員であった場合の任期は, 平成25年4月1日からの雇用期間の通算が5年となるよう設定されます。
6. 博士の学位を取得した者または平成26年3月31日までに取得見込みの者。
7. (1) 履歴書, (2) 研究歴, (3) 研究論文リスト(査読論文と, その他を区別し, 共著論文の場合は著者名をすべて明記すること), (4) 主要論文3編以内のPDFファイル, (5) 研究計画書(希望する勤務地と受け入れ責任者を明記のこと), (6) 推薦者の名前(1名に限る)。推薦書は推薦者が応募締め切りまでに提出先へ送ること。
8. 平成25年10月15日(火) 正午必着
9. (1) 応募書類, 推薦書とも appl_fellow2014@nao.ac.jp へメール添付で送付のこと。
(2014は数字, 他の1はエル)
(2) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1
国立天文台研究連携主幹 桜井 隆
Tel: 0422-34-3936
E-mail: sakurai.takashi@nao.ac.jp
10. 応募書類が受理されると, 祝休日を除き3日以内に確認のメールを送るので, それが届かない場合は appl_fellow2014@nao.ac.jp へ問い合わせること。
11. 採用審査: 書類および面接により候補者を選考し, 運営会議の議を経て年俸制特任助教として採用を決定します。
身分・待遇: 裁量労働制の常勤職員として月額50万円の給与および通勤手当, 年間100万円の研究費が支給されます。着任のための旅費・移転費も支給します。米国ハワイ州外よりハワイ観測所(ハワイ州ヒロ市)に着任する場合, またはチリ共和国外よりチリ観測所(サンチャゴ市)に着任

する場合には、各々ハワイ手当、チリ手当相当額を加算し、月給は77万円となります。健康保険、年金については文部科学省共済組合に加入していただきます。ボーナス、退職金の支給はありません。科学研究費助成事業への応募資格があります。

国立天文台は男女雇用機会均等法を遵守し、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めており、業績の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。

詳しくは<http://jouhoukoukai.nao.ac.jp/danjokuyodo/>をご覧ください。

人事公募結果

1. 掲載号
2. 結果（前所属）
3. 着任時期

神奈川工科大学 基礎・教養教育センター 物理系列任期制教員

1. 2013年4月（第106巻第4号）
2. 神谷克政（筑波大学数理工学系 助教）
3. 2013年9月

賞の推薦

「宇宙科学奨励賞」候補者推薦依頼

公益財団法人宇宙科学振興会では、宇宙科学分野で優れた研究業績を上げ、宇宙科学の発展に寄与した若手研究者を顕彰し、宇宙科学奨励賞を授与いたします。ここに2013年度の第6回宇宙科学奨励賞候補者のご推薦を募集いたします。詳細は当財団のホームページ（<http://www.spss.or.jp>）に掲示しておりますが、当奨励賞の概要は以下のとおりです。今年度より副賞賞金を30万円に増額いたしました。皆様の周りで優れた業績を上げ将来の活躍が期待される若手研究者をご推挙いただけますようお願い申し上げます。

表彰の趣旨：宇宙理学（地上観測を除く）分野および宇宙工学分野で独創的な研究を行い、宇宙科学の進展に寄与する優れた研究業績を上げた若手研究者個人を顕彰。

授与機関：公益財団法人 宇宙科学振興会候補者：上記分野で優れた業績を上げた当該年度の4月1日現在37歳以下の若手研究者個人。候補者の推薦は他薦に限る。

業績の審査：業績の審査は、推薦理由となる研究業績に関連して発表された論文に基づいて、当財団が設置する選考委員会において行う。賞の内容：授賞は原則として毎年宇宙理学関係1名、宇宙工学関係1名とする（ただし適格者のいない場合は受賞者なしとする場合がある）。受賞者には本賞（賞状と表彰楯）および副賞（賞金30万円）が贈られる。

推薦締切日：2013年10月31日（木）必着。

表彰式：選考結果は2014年1月に推薦者と受賞者に通知するとともに、当財団ホームページにおいて発表する。その後2014年3月に表彰式を行い、受賞者には受賞対象となった研究に関する講演をしていただく。

なお、推薦の手続きの詳細については財団のホームページ（<http://www.spss.or.jp>）をご覧ください。推薦書式をダウンロードして必要事項を記載の上、(1) 候補者の略歴、(2) 論文リスト、および(3) 推薦の対象となる論文の別刷等必要書類を添付の上、電子メールにて投稿ください。

お問合せ先および推薦書送付先：

〒252-5210 神奈川県相模原市中央区由野台3-1-1
公益財団法人宇宙科学振興会 事務局
Tel: 042-751-1126 Fax: 042-751-2165
E-mail: admin@spss.or.jp

研究助成

平成26年度笹川科学研究助成

公益財団法人日本科学協会
笹川科学研究助成係

21世紀は大きな価値基準とそのもとなる哲学の転換期であり、直面する諸課題を克服し今後の展望を拓いていくために、科学・技術は重要な鍵を握っています。これからの科学・技術で重視すべきことは、新たなものを生み出し活用する「新しい知の創造」であり、そのためには次代を担う多様な人材が能力を発揮できるようにする必要があります。

よって、本制度は、新規性、独創性または萌芽性を持ち、発想や着想に意外性をもった研究に焦点をあて、優れているものの他からの支援が受け難い研究を掘り起こし、助成することにより、科学・技術研究の振興を図ることを目的としています。

◆詳細は、本会Webサイトをご覧ください。

<http://www.jss.or.jp/ikusei/sasakawa/>

《募集期間》

○学術研究部門：平成25年10月1日～15日

○実践研究部門：平成25年11月1日～15日
 ≪お問合せ先≫
 公益財団法人日本科学協会 笹川科学研究助成係
 〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2
 日本財団ビル5F
 Tel: 03-6229-5365 Fax: 03-6229-5369
 E-mail: josei@jss.or.jp
 URL: <http://www.jss.or.jp>

研究会・集案案内

第12回 X線結像光学シンポジウム

X線結像光学は平成に入ってから急速に発展してきた新しい学問分野です。研究分野は広く理学と工学にまたがり、その利用領域の多様性から科学と技術の要に位置し、宇宙科学、生命科学、物質・材料科学、放射光科学、プラズマ・核融合科学、医療技術、精密工学の広範な分野における研究進展に大きな役割を果たしています。1990年1月に本研究会主催の第1回シンポジウムが東京で開催され、その後、第5回から全国の主要地域で回を重ね、今回は12回目になります。この間、本研究会を中心にした研究活動は、多くの支援を得て順調に発展してきました。これまでの活動は、大学・研究機関が中心でしたが、技術的な成熟度から見て、今後は産業利用への期待も膨らみます。本シンポジウムでは、エネルギー（波長）領域100 eV～200 keV（10～0.005 nm）における光学・計測技術、またそれらによる科学研究およびX線結像光学の基盤技術に関する最新の研究成果を発表し、将来の展望を議論します。

期 日：2013年11月18日（月）13時～11月20日（水）12時30分

会 場：大阪大学中之島センター（大阪市北区中之島4-3-53）

主 催：X線結像光学研究会（会長：柳原美廣（東北大学多元物質科学研究所））

内 容：29件の招待講演＋ポスター発表、今回の募集はポスター発表で参加される方です。

主要トピックス：X-ray telescope, X-ray sensor, X-ray microscope, XFEL, Element technologies.
 詳細の案内はHPをご覧ください。

H P: http://www-up.prec.eng.osaka-u.ac.jp/xio/12thXIO_Sympo/index_final.htm

目 的：X線光学と検出器の開発研究とその応用の推進

対 象：X線天文関連、X線光学系、放射光、X線望

遠鏡、X線顕微鏡、X線センサーなどの研究開発に従事する研究者ならびに学生、関連メーカーの研究者、技術者

応募締切：登録ならびにアブストラクト提出締切：2013年10月11日（金）

応募方法：HPを通して登録してください。

主 管：第12回X線結像光学シンポジウム実行委員会（委員長：常深 博）

後 援：日本天文学会、日本物理学会、放射光学会、応用物理学会

参加登録費：一般は6,000円、学生は3,000円

問合せ先：常深 博（つねみひろし）

〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町1-1

大阪大学大学院理学研究科

宇宙地球科学専攻 F515

Tel: 06-6850-5477 Fax: 06-6850-5539

E-mail: tsunemi@ess.sci.osaka-u.ac.jp

“International Symposium on Research Frontiers of Physics, Earth and Space Science” 「物理学、宇宙・地球惑星科学における学際研究フロンティアの動向」

（開催案内）

素粒子・原子核物理学、物性物理学、宇宙科学、地球惑星科学などの幅広い分野における研究の最前線を俯瞰し、学際的な視点から今後の展望を探る。国内外からの招待講演者10名による口頭講演と、一般参加者のうちの希望者によるポスター発表を予定。

URL: <http://thmat8.ess.sci.osaka-u.ac.jp/Meeting2013/index.html>

日 時：2013年12月17日（火）～18日（水）

場 所：大阪大学 豊中キャンパス シグマホール
 〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町1-1

主 催：日本学術振興会・学術システム研究センター
 参加費：無料

参加申込み方法：

web上での参加登録（10月1日開始）

ポスター発表申込み締切（11月8日）

ポスター発表アブストラクト提出締切（11月29日）

連絡先：〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町1-1

大阪大学大学院・理学研究科・宇宙地球科学専攻

川村 光（秘書 森田登紀子）

Tel: 06-6850-5543

（秘書 Tel & Fax: 06-6850-5494）

E-mail: ISRF2013@spin.ess.sci.osaka-u.ac.jp

市民講座 物理と宇宙 第1回

- 名称: 市民講座 物理と宇宙 第1回
 主催: 京都大学大学院理学研究科物理学・宇宙物理学専攻
 京都大学基礎物理学研究所
- 内容: 市民の人々に物理学や宇宙物理学の最新の研究成果を発信し、その最先端を分かりやすく説明する。また、双方向の議論も行う。2003-2007年度21世紀COEによる市民講座、2008-2012年度グローバルCOEによる市民講座と10年間にわたって開催してきたが、これを引き継ぐ市民講座である。
- 日時: 2013年11月9日(土) 13時~17半時
 ○場所: 京都大学百周年時計台記念館(大ホール)
 ○対象: 中高生以上
 ○応募方法: 往復ハガキ, WEB, E-mail
 ○宛先: 〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
 京都大学理学研究科宇宙物理学教室内
 市民講座あて
 E-mail: shimin@scphys.kyoto-u.ac.jp
 URL: http://www.scphys.kyoto-u.ac.jp/Public_Lecture/index.html
- 募集人員: 500名
 ○講演:
 石田憲二(京都大学理学研究科)
 「多様な超伝導状態: 新奇超伝導体の最前線」
 石野雅也(京都大学理学研究科)
 「ヒッグス粒子をみつける方法」
 柴田大(京都大学基礎物理学研究所)
 「ブラックホールを創る」
- 実行委員: 太田耕司(委員長), 田中耕一郎, 鶴剛, 國友浩

会務案内

●第3期日本天文学会代議員選挙に関する公示●

2013年9月20日

選挙管理委員会委員長 田中培生

定款第30, 31, 32, 33条および代議員選挙施行細則(以下「細則」)に基づき、第3期代議員17名(任期

2014~2017年度の4年間)の選挙を下記のとおり実施いたします。選挙日程は以下のとおりです。

- 9月20日(金): 選挙公示
 9月20日(金)~10月11日(金): 選挙管理委員会への立候補受付
 9月20日(金)~10月4日(金): 推薦委員会への推薦受付
 11月6日(水): 立候補者リスト, 推薦委員会による候補者リスト, 有権者名簿, および投票用紙を正会員へ発送
 11月6日(水)~12月5日(木): 投票期間
 12月9日(月): 開票

1. 選挙権および被選挙権を有する方は、公示の時点での正会員です。ただし、非改選代議員は被選挙権がありません(細則第5条)。非改選代議員のリストを下記に示します。被選挙権者、候補者、有権者名簿は11月6日に発送します。
2. 投票は10名以内の無記名連記とします(細則第9条)。
3. 立候補される方は、選挙管理委員(rikkouho2014@asj.or.jp)宛に、氏名、会員番号および立候補の意志を電子メールで送ってください。所信表明がある場合には、PDF形式で1ページ以内に文章のみで記載し、添付してください(細則第7条)。
4. 推薦される場合には、推薦委員会(suisen2014@asj.or.jp)宛に、推薦する正会員の氏名を電子メールで送ってください(細則第7条)。
5. 有権者には、有権者名簿、立候補された方と推薦された方の名簿、および投票用紙を発送します(細則第8条)。
6. 選出された代議員の名簿は、2014年1月20日発行予定の天文月報2月号に発表します(細則第11条)。

【非改選代議員】(18名)〈任期: 2013.1.1~2016.3.31〉

井上 一	市川 隆	梅村雅之	岡村定矩
奥村幸子	海部宣男	河合誠之	小久保英一郎
柴田一成	田村元秀	常田佐久	半田利弘
馬場 彩	福井康雄	望月優子	吉川 真
吉田道利	渡部潤一		

公益社団法人日本天文学会へ2013年3月13日～2013年4月30日に入会された方、移籍された方、退会された方をお知らせします。

正会員入会 (22名)

廣田晶彦	国立天文台・野辺山	長友 竣	京都大・大学院理 (在学)
有水 博	キャノン矢向事業所	堀 貴郁	京都大・大学院理 (在学)
山井勇樹	筑波大・大学院数理物質科学 (在学)	坪根義雄	青山学院大・大学院理工 (在学)
渡邊 歩	筑波大・大学院数理物質科学 (在学)	中田智香子	京都大・大学院理 (在学)
山本広大	大阪大・大学院理 (在学)	西嶋颯哉	東京大・大学院理 (在学)
矢野健一	東京大・大学院理 (在学)	岡田裕行	京都大・大学院理 (在学)
加藤広樹	大阪大・大学院理 (在学)	江見直人	京都大・大学院理 (在学)
仲本純平	北海道大・大学院理 (在学)	水野翔太	京都大・大学院理 (在学)
小野智弘	京都大・大学院理 (在学)	田中 修	(独)製品評価技術基盤機構/放送大学 (在学)
蔡 承亨	兵庫県立大西はりま天文台 (在学)	上野忠美	京都大・大学院理 (在学)
河端洋人	京都大・大学院理 (在学)		
北川祐太郎	東京大・大学院理 (在学)		

準会員入会 (9名)

香川公寿	不動産関連自営業	室谷文祥	大阪市立大・数学研究所
我妻 穰	千葉県松戸市在住	星野亜美	東京都八王子市在住
丹野佳代子	佐賀県立博物館	南 敏文	北海道岩見沢市在住
宮田一成	(有)ミヤタ	加藤 篤	福島県福島市在住
武藤 遼	神奈川県立小田原高等学校		

団体会員入会 (1名)

神奈川県立川崎図書館

移籍 [準→正] (15名)

青木 勉	(東京大・天文学教育研究センター・木曾)	高橋龍一	(弘前大・理工)
寺田健太郎	(大阪大・大学院理・宇宙地球科学)	日下部元彦	(School of Liberal Arts and Science, Korea Aerospace University)
桑村 進	(北見工業大・情報システム工学)		
荻尾彰一	(大阪市立大・大学院理)	原川紘季	(東京工業大・大学院理工 (在学))
澤田-佐藤聡子	(国立天文台)	菊池之宏	(九州大・大学院理 (在学))
中屋秀彦	(国立天文台)	宇井崇紘	(国立天文台/広島大・大学院理)
藤代尚文	(京都産業大・神山天文台)	塚本裕介	(名古屋大・大学院理)
雑野 綾	(大阪大・大学院理)	石井彩子	(東北大・大学院工 (在学))

移籍 [正→準] (11名)

河野宣之	真鍋盛二	宮島一彦	横沢正芳	田蓑・油井瑞明	Jean Hebb Swank	佐藤哲也
高本 亮	蔵本哲也	清水一真	大友雄造			

正会員退会 (70名)

沖田喜一	関 一	山崎達哉	中村雅徳	Ishituka Jose K	有吉誠一郎	福江 翼
小池一隆	大石晋恵	松田桂子	岩橋孝典	遠藤 輝	大谷敦久	廣井和雄
黒岩宏一	加藤恵理	神頭知美	秋里 昂	平田義孝	真鍋 翔	大橋健次郎
椎野竜哉	吉田憲悟	菊地英仁	菊地里実	寺部佑基	齋藤浩太	山口健太郎
中込圭佑	野口 亮	太田裕也	高橋洋輔	宮本庸平	南原甫幸	大浦智史
						藤野遥子

佐藤良祐 Kuncarayakti Hanindyo 飯野瑛里子 井上真奈 本間英智 飯島律子 宮井大輝
田口真彦

藤本正行 Hugh S. Hudson 中川道夫 宮澤忠治 森口義明 服部雅之 田中 実
保坂啓太 松井 真 Lundock Ramsey Guy 江村尚美 石野佑紀子 秋山演亮 堀井 俊
加納康史 青山翔一 Chibueze James Okwe 宇田悠佑 河合耕平 有松 亘 川上孝介
南 陽仁 信田和哉

準会員退会 (27名)

山中宏夫 小林英輔 鈴木 悟 野辺新治 森 巧 山口 昭 米倉(尾林)彩乃
鵜飼正行 小山博子 馬見塚裕 森 雄兒 後藤俊樹 岩瀬光男 石橋 彰 林 数馬
北村唯子 高橋玲央奈 小谷朋美

長谷川俊雄 若松康広 花木哲男 池之上文吾 村田孔孝 村中淑秀 森 克敬 木下敏輝
木村太輔

訃 報

村山定男氏が2013年8月13日にご逝去されました(享年89歳)。慎んでご冥福をお祈りもうしあげます。

天文月報オンライン/投稿用アップローダーのIDとパスワード

ID: asj 2005

パスワード: 雑誌コード(5桁の数字と)vol98(5文字)の計10文字を入力してください。「雑誌コード」とは印刷版の月報の裏表紙の右下に書かれている「雑誌○○○○○-▲」の○○○○○の部分です。○○○○○は各号共通の数字です。

青木和光(編集長), 市来浄與, 大栗真宗, 勝川行雄, 富永 望, 平松正顕, 廣田朋也, 馬場 彩, 前野将太, 町田正博, 吉田二美

平成25年9月20日 発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会

印刷発行 印刷所 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-8-8 株式会社 国際文献社

定価700円(本体667円) 発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会

Tel: 0422-31-1359 (事務所) / 0422-31-5488 (月報) Fax: 0422-31-5487 振替口座00160-1-13595

日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: toukou@geppou.asj.or.jp

会費には天文月報購読料が含まれます。

©公益社団法人日本天文学会2013年(本誌掲載記事は無断転載を禁じます)